

一村一品運動と 開発途上国

日本の地域振興はどう伝えられたか

松井和久・山神 進——〔編〕

アジア研選書 3

A J I K E N S E N S H O



アジア経済研究所 IDE-JETRO

アジア経済研究所

既刊案内

アジ研選書 < A5判 >

(表示した価格は税込み価格です)

2	躍動するインド経済 光と陰 内川秀二編	2006年	356p.	4200円	インドの社会経済構造を明らかにし、経済改革の影響の分析を試みた。第1部で農業、労働市場、貧困削減を、第2部では、経済改革が各産業に与えた影響を分析する。
1	メコン地域開発 残された東アジアのフロンティア 石田正美編	2005年	387p.	4515円	メコン河流域を拡大したタイ、カンボジア、ラオス、ミャンマー、ベトナム、中国雲南省をカバーする地域の開発を国際関係、インフラ、人材育成、産業の観点から詳細に分析。

情勢分析レポート < A5判 >

2	アメリカ・ブッシュ政権と揺れる中東 福田安志編	2006年	212p.	1575円	ブッシュ政権によるイラク戦争は中東地域に何をもたらしたのだろうか。現在もお混乱が続く不安定な中東地域の情勢と、アメリカの対中東政策およびその背景を分析する。
1	中国 胡錦濤政権の挑戦 第11次5カ年長期計画と持続可能な発展 大西康雄編	2006年	168p.	1575円	胡錦濤政権は、社会的安定と持続的高成長の両立という難題に挑もうとしている。その行方について第11次5カ年長期計画の主要課題を分析しつつ展望する。

アジアを見る眼 < 新書判 >

108	石油大国ロシアの復活 本村眞澄著	2005年	272p.	1470円	石油生産の回復とともに力強さを取り戻しつつあるロシア経済。ロシアの石油について、ここにいたるまでの経緯を概観し、その特質を分析し、今後の方向を展望する。
107	貧困削減と世界銀行 9月11日米国多発テロ後の大変化 朽木昭文著	2004年	187p.	1155円	2001年9月11日米国同時多発テロが開発のあり方にも影響し、貧困削減が地球的な課題となった。本書は、世界銀行の貧困削減略を示し、筆者の成長戦略を提案する。
106	テヘラン商売往来 イラン商人の世界 岩崎葉子著	2004年	223p.	1470円	10年にわたる調査で覗いたイラン商人の世界。客あしらいや義理人情など、商売の極意を彼ら自身の言葉で綴る。宗教や政治の本では決して読めない生身のイランが見えてくる。
105	アジアの人口 グローバル化の波の中で 早瀬保子著	2004年	286p.	1470円	多産多死から少子高齢化、児童労働と都市化、エイズ・SARSの拡大と国際労働移動など、多様なアジアの人口問題を考察し、その将来を展望する。
104	ガーナ 混乱と希望の国 高根 務著	2003年	214p.	1155円	カカオの産地として有名な、西アフリカの国、ガーナ。この国の豊かな文化と歴史をたどり、さらに私たちと同時代を生きるガーナの暮らしを、等身大の視点で描く。